

研究レポート No.541 岩手県農業研究センター

雨よけ無加温栽培におけるパプリカ有望品種

【1 成果の概要】

パプリカについて雨よけ無加温栽培における有望品種を明らかにしました。

【2 有望品種とその特性】

- (1) 赤色品種では、商品果収量が多く、A品率と中心規格割合も高い「クプラ」が有望です(図1)。
- (2) 黄色品種では、商品果収量が多く、A品率も高い「コレッティ」が有望です(図1)。
- (3) 赤色品種と黄色品種で大きさを揃えた販売を行う場合は、下記の組み合わせが総合的に優れます。

赤色品種	黄色品種	果実の大きさ (平均1果重)
クプラ	フェアウェイ	160~170g 程度
スペシャル	チェルシー	180~190g 程度
フェラーリ	コレッティ	190~210g 程度

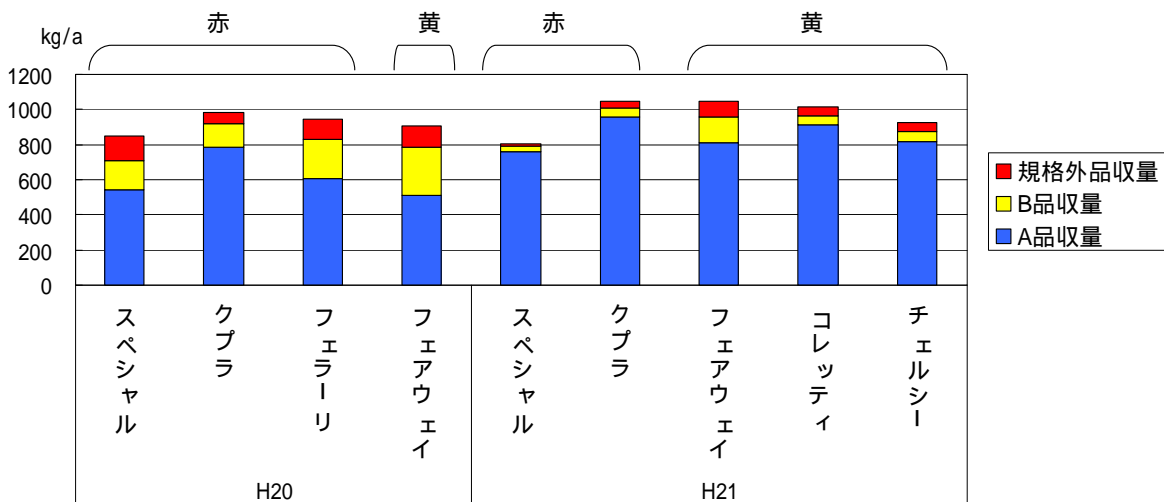


図1 収量

【3 この技術を上手に使うには】

- (1) 定植は4月上~中旬に行い、無加温で11月中旬まで収穫します。
- (2) 栽植距離は、株間30cm~40cm、畦幅160cm、1条植えとします。
- (3) 初期の摘果は第2節まで行い、第3節以降から収穫します。
- (4) 仕立て方法は4本仕立てのつり下げ誘引で、9月上~中旬に主枝を摘心します。



図2 栽培圃場の様子 (H21)

【4 効果】

収量性および良果率の高い品種を選定することにより、パプリカの安定生産が可能となります。